

●2024年度● 対面&オンラインにより

会員団体との協働で多彩な講座を開催

成蹊大学 企画講座

AIと社会

—これからの社会でのデータサイエンスの役割—
—企業分析におけるテキストマイニングの活用

2024年度は、AIと社会について2回に渡り分かりやすく解説いただきました。講師は、成蹊大学理工学部理工学科教授の小森理氏と酒井浩之氏です。



国立天文台 企画講座

“アストロノミー・パブ”

市民と専門家との間の相互コミュニケーションを目的とした、サイエンス・カフェの天文版です。2024年度は全8回とも教室とオンラインのハイブリッド方式で開催。後半のパブタイムでは、ビールやつまみを片手に受講者とゲスト、ホストが天文や最新の技術を語りました。第205回目(9月)には山岡均・国立天文台天文情報センター広報室長が3代目パブ店主に就任しました。2025年3月に第208回を迎えた長寿講座です。



国立天文台 ほか 協力講座

星空案内人養成講座

2024年で16期を迎えました。星空案内人は、市内の小中学校や三鷹駅前、神代植物公園など各所で開催される観望会や星空を解説する講座「みたか星空散歩」等で活躍しています。



海上技術安全研究所 企画講座

“船と海の科学”

2024年度は、海上技術安全研究所国際連携センター長の宮崎恵子氏にご登壇いただき、「海上の安全を守る国際海事機関及び国際標準化機構の活動」と題しオンライン同時開催で実施しました。

また、2025年1月10日から2月9日まで、天文・科学情報スペースにて企画展を開催。「三鷹に海の研究所？」と題し、模型やパネルの展示を行い、研究所の取組や実験施設などを紹介しました。来場者に配布した船等のペーパークラフトも好評でした。(来場者数695人)



企画展撮影: まちなかカメラマン 今野行

電気通信大学 寄付講座

研究の歴史から見るAI過去未来—2024年はAIの年

2025年3月1日に開催。現在最もホットな分野といえるAIについて、計算機の発展の歴史も概観しつつ、いかにしてAIというものが研究され、そして実用化されていったかについて解説し、AIの良いところ悪いところを学びました。

東京女子大学 寄付講座

“数学はこんなに面白い！”“数学カフェみたか”

東京女子大学名誉教授の小林一章氏に「数学はこんなに面白い！」は2008年から、「数学カフェみたか」は2014年から、毎月開講いただきましたが、惜しまれながら2025年3月をもってご降壇されました。4月からは「続・数学はこんなに面白い！」と題し、同大学の宮地晶彦名誉教授をお招きします。



2025年3月11日「数学カフェみたか」

東京女子大学 企画講座

まちづくり・DX化・社会的想像力

現代教養学部国際社会学科コミュニティ構想専攻教授の伊奈正人氏にご登壇いただきました。商店街、百貨店、図書館、青少年施設、企業活動などの調査を例に、問題解決のヒントを考えました。



国際基督教大学 寄付講座

“数学のタベ”

数学は新たな視点を加えながら現在も発展を続けています。特に近代以降の数学から数多くの興味深いトピックが生まれました。容易にはアクセスできず、知られていないものも多くあります。本講座では、そのような興味深いトピックの中から一つ選んで、数学の視点や発展の様子などを紹介しています。

日本獣医生命科学大学 企画講座

いのちをつなぐ

—女性研究者が語る生命科学の一端

日常の何気ない活動と、万が一病気になった時の二つの視点から、応用生命科学部の女性研究者による講座を企画しました。

第1回(10月) 茶の種類とその違い
第2回(12月) 役者の多い免疫の話

人と動物の共生

—女性研究者が語る人とペットの心理学：愛着とペットロス

「ペットロス」による悲嘆の心理過程、グリーフケア(悲しみに寄り添いサポートする)について分かりやすく解説しました。

※同大学が文部科学省の人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」の対象となったことを受け、講師全員に女性研究者を起用しました。

杏林大学 公開講演会

「睡眠のりくつ—快適な眠りを得るために」ほか

杏林大学の特色を活かし、医療系、人文社会科学系の公開講演会・公開講座を実施しています。上記の他、キャリアや短歌、リハビリなどのテーマでオンラインや三鷹ネットワーク大学で開催しました。

専門学校アジア・アフリカ語学院 寄付講座

語学体験講座—入門

アジア・アフリカ地域の言葉の魅力を知る機会として、春と秋に語学体験講座を開講しました。同学院からアラビア語、インドネシア語、ウルドゥー語、韓国語、タイ語、中国語、ベトナム語、ロシア語の講師をお招きし、各国・地域のことに触れながら、話したり書いたりすることに挑戦しました。

三鷹の森ジブリ美術館 協力

“アニメーション文化講座”第11回
手描きアニメの粋を集めて

同美術館企画展示「君たちはどう生きるか」展との連動企画として開催しました。宮崎吾郎氏、本田雄氏、山下明彦氏、武重洋二氏、吉田昇氏、押山清高氏、井上俊之氏にご登壇いただきました。



三鷹ネットワーク大学館内に柱にサインをいただきました。

「民学産公」協働研究事業

三鷹ネットワーク大学では、地域産業の活性化や新規事業創出に向けた実証実験、先行的モデル事業の実施などを、民学産公の協働の手法によって、幅広く支援します。新しい技術の開発、新しい分野への進出を考えている研究者・事業者の皆さん! あなたの夢の実現をお手伝いします。一緒にチャレンジしてみませんか?

東京都立産業技術大学院大学 寄付講座

人を測るといふこと

2024年度の本講座は、モノづくりの現場で人を計測するという場合に、何を使つてどのようなことが測られていて、何に役立てられているのか、または、役立てられようとしているのかについて、昨今の技術動向を踏まえて説明いただきました。講師は、同大学教授の浪岡保男氏が務めました。YouTubeを使用したオンライン配信講座として実施し、視聴回数は278回でした。

三鷹市教育委員会 共同企画講座

スクール・コミュニティ講座

三鷹市教育委員会との共同企画事業で、学校支援ボランティアやPTA、子どもに関わる地域活動に役立つ内容を、対面講座(4回)とオンデマンド講座(4本)で開催しました。対面講座は、学校3部制の考え方を踏まえ学校施設で実施しました。また、講座受講者を対象に交流会も開催しました。

“みたか教師力養成講座”
みたか学校インターンシップ

教員志望の学生や社会人を対象に、学校現場での体験や実践を中心としたインターンシップと、座学の講義や交流会を併せて春と秋に開講しています。春期は、教員採用試験対策に重点を置いて、論文や面接対策を実施しています。



2025年度 参加団体を募集!

応募資格、支援内容、申請方法などの詳細はHPをご覧ください。



応募締切 2025年5月8日(木)



2024年度 採択事業 ★まちづくり研究員枠 ◆参加と協働推進枠 ●継続研究支援枠

	「みたか温故知新マップ」アプリの開発研究	エム・ティ・プランニング株式会社
	三鷹市地域キャラクター「Poki」有効活用の実証研究	法政大学地域研究センター
	外部支援組織の探究活動の実施に関する研究—ミライ探究部を事例に—	東京学芸大学大学院
	スマートシティディーラー 三鷹版 よりよい(Smart)まちづくり(City)まちの機能としての自動車ディーラー店舗	亜細亜大学
★	三鷹市の観光と子どもの学習に役立つ子ども視点の物語型観光ツール開発に関する実践研究	西岡 直實
◆	緑と水と星空の三鷹を巡る 安全ツーリズム	遠山 尚恵
◆	魅力あふれる活力・にぎわいのまちの実現に寄与しうるサスティナブルな新しいイベントの研究	打矢 聡
◆	地域における公立美術館についての市民の受容とコミュニティ形成の可能性	中嶋 厚樹
●	三鷹・調布スマート農業・養蜂プロジェクト	電気通信大学
●	「森の地図プロジェクト」研究(平成24年度・25年度)の発展形としての『三鷹市まちづくりMAP』創出研究事業—まちづくり研究論文『「まちづくり」に役立つ地図のスタイル研究』の実証—	一般社団法人武蔵野コッツウォルズ/杏林大学

くらしとバイオプラザ21 企画講座

サイエンスカフェみたか

多彩なテーマにあわせて講師をお迎えし、科学についてわかりやすく講義いただきながら、講師と受講生のコミュニケーションを大切にしている企画サロンです。関西など遠方から毎回参加する受講者もいるため、企画団体の要望を受けて2024年度もオンラインで開催しました。

2025年3月に、通算102回を迎えました。



井の頭自然文化園 寄付講座

干支にまつわるエトセトラ

2010年から毎年1回、飼育員をはじめとした同園に携わる方々を講師としてお招きし、干支の動物をテーマにした講座を開催しています。本講座では、動物の生態や文化、保全活動等を紹介しています。巴年にちなみ、「へびとは一体なもの蛇?ながくてほそいへびのはなし」と題してへびのユニークな特徴や人との関係について、解説いただきました。



不確実性の高まる世界と日本経済

昭和女子大学客員教授・東京大学名誉教授、経済学博士の荒巻健二氏に、長期にわたり世界の成長から取り残されてきた日本経済は現在どのような状況にあり、いかなる課題を抱えているのかをおさえ、そのうえで、こうした世界の不安定化、特に現時点で予想される米国の政策が日本経済にどのような影響を及ぼす可能性があるのかについても解説いただきました。



みたか市民協働ネットワーク 共催講座

三鷹「まち活」塾 2024 第7期

—「好きなコト」「できるコト」「やりたいコト」×「まちのデザイン」

2017年から開催している連続講座(全10回)です。三鷹市との連携で創業支援の内容も含まれています。参加者数は、これまでの1~7期生で延べ160名を超えました。現在、多くの修了生が、地域で活動・活躍しています。



最終報告会にて修了証を授けました。(9月21日 於:三鷹市民協働センター)

(一社)電気学会 寄付講座

ニコラ・テスラ—エジソンを凌駕した電気の天才発明家の偉業と先見性— ほか

2018年から賛助会員に加わった一般社団法人電気学会は、1888年創設という歴史ある学術法人です。

2024年度は2月に『電気を賢く使おう—電気の流れを紐解く』と題し、家庭用200V電源の経済性や太陽光発電の過剰生産といった身近な話題を幅広く解説しました。3月は『ニコラ・テスラーエジソンを凌駕した電気の天才発明家の偉業と先見性』と題して、19世紀末に交流送電システムを構築し近年再評価が著しいテスラの業績を振り返りました。



(一社)ビューティフルエージング協会 寄付講座

人生100年時代を考える

人生100年時代の社会で、充実し安心して生活するためには、若いうちから学び、働き、人生設計を考えることが大切です。ビューティフルな人生を送るためには、自らを育てる“育自”が必要です。本講座では、シニア世代の方々へ「学び方」「働き方」「生き方」を考えていただく機会を提供しています。

みたか都市観光協会 企画講座

大人のための音読講座
三鷹ゆかりの作家・作品たち

この講座は、朗読家の原きよ氏を講師としてお招きし、講師による朗読と参加者が音読するワークショップ形式で実施しています。声に出して読む、つまり音読すると、文章がより立体的になり、新たな世界を発見できます。太宰治をはじめとした人気の作品から、多くの方にはまだ知られていない作品まで幅広くとりあげています。2010年に開始したこの講座は、毎月1回開催し、2024年3月には通算142回を迎えました。

昼スナックママが教える、
キャリアを広げる自分のヒキダシの見つけ方
「創業支援セミナー」(三鷹「まち活」塾フォローアップ講座)

本講座では、「昼スナックひきだし紫乃ママ」こと(株)ヒキダシ代表取締役の木下紫乃さんから、自分のキャリアを見つめ直し、新たな一歩をふみ出す極意を学びました。

